

# 施設ソーシャルワーク 9 機能モデルを活用した 相談援助実習プログラムの作成

---

## 1 開催の趣旨

社会福祉士養成においては、より高い実践力養成が志向され、相談援助実習は目標志向型・臨床参加型実習となってきました。こうした目標志向型の実習においては、体系的な実習プログラムが重要です。現在、最も多くの学生が実習する場である入所・通所施設での実習においては、利用者のニーズを捉えた個別支援と環境調整、サービスの質の向上、リスク管理、地域資源の活用など幅広い施設ソーシャルワークを理解することが求められています。さらに、実習生自らが「～できる」力を獲得していく為にも、施設・機関における体系的な実習プログラムは実習を効果的に進めるにあたっての重要な要素のひとつでもあります。北海道ブロックでは 2015 年度に、実習プログラミングに焦点をあて、講演及び実習指導者・実習体験学生の体験例報告を踏まえた模擬的実習プログラミング体験を行い、効果的な実習展開の検討をおこないました。多くの実習指導者の参加をいただき、その関心の高さと、有意義な時間を実感するとともに、入所・通所施設における実習プログラミング情報の交換の機会の必要性も感じる事ができました。

このような経過をふまえて、本年度の研修では、実習プログラムの作成における RSW 9 機能モデルの具体的な活用についてグループワークで検討するとともに、実習関係三者にて情報交換を行うことで、質の高い実習を展開していくための一助とすることを目的とします。

## 2 開催日時・会場

- (1) 開催日時 : 2017 年 7 月 29 日(土) 13:00~17:30 (受付 12:30~)
- (2) 会場 : 北星学園大学第 2 研究棟地下 第 1 会議室
- (3) 対象 : ① 社会福祉士養成校教員  
② 社会福祉士養成に関心のある社会福祉士および実習指導者等  
③ 社会福祉士養成課程で学ぶ学生
- (4) 参加費 : 現場・養成校 1,000 円 (資料代)  
学 生 無 料
- (5) 定 員 : 30 名程度

### 3 プログラム

13:00 開催の挨拶

13:05 講演 施設ソーシャルワーク(R S W)9機能モデルの考え方を活用した実習プログラムの作成(仮)

越石 全(札幌医学技術福祉歯科専門学校)

14:00 休憩

14:10 報告

施設ソーシャルワーク(R S W)9機能モデルを活用した実習プログラム例(仮)

相談援助実習において、R S W 9機能モデルを活用した実習プログラムを作成し、実習指導を展開について、特にソーシャルワーク理解を中心とした実習プログラム作成過程や相談援助実習指導例の紹介をいただき、実習プログラム作成の留意点、事前教育およびソーシャルワーク理解に向けた効果的な相談援助実習の展開に向けた提言をいただく。

<現場報告> 25分

高齢者福祉における実習プログラミングと実習展開(仮)

渡辺 啓太(特別養護老人ホーム 緑愛園)

<学生報告> 15分

調整中

14:50 質疑

15:00 休憩

15:15 グループワーク:実習プログラムの作成体験 コーディネーター 越石 全

自らの日々のソーシャルワーク実践を、より効果的に学生が理解することができるよう実習を展開していく為に、R S W 9機能モデルを用いて模擬的に実習プログラムを作成し、さらに教員・現場の社会福祉士(実習指導者)等・学生の三者で意見交換等を行う。

17:30 終了

**懇親会 18:15頃より懇親会を予定しています(会費3500円程度)。**

**参加申込〆切 7月14日(金)\*「参加連絡票」にて所属機関毎にお申込みください。**